

寄贈品コーナー 「平塚空襲展」

2022年

会期：6月21日（火）～7月31日（日）



海軍共済病院（現平塚共済病院）の破壊された病棟から看護婦寄宿舍をみる（アメリカ国立公文書館蔵）

平塚市は昭和20（1945）年7月16日午後11時30分ころから約100分間、B29爆撃機133機による空襲にさらされました。この空襲による被害は平塚市のみならず、茅ヶ崎市・大磯町・二宮町・小田原市にも及び、362名以上の方が亡くなりました。

本展示では、空襲後の平塚市のまちの様子の写真や、空襲体験者自身による空襲体験絵画、平塚に投下された焼夷弾などに、昨年度開催した特別展『平塚空襲 その時、それまで、それから』の成果も加えて展示いたします。平塚空襲は風化させてはならないまちの記憶です。本展示を戦争と平和を考えるきっかけにしていただければ幸いです。